

豊橋・学校いのちの日

6月18日は、「豊橋・学校いのちの日」です。11年前、野外教育活動中に豊橋の中学1年生の女子生徒が亡くなった事故を教訓に、全教職員が学校の安全を守ることを確認し、子どもたちも命の大切さについて考える日として、毎年、豊橋市内の全小中学校で取り組んできました。

本校では、6月8日（火）の朝会では校長講話として「いのちのはなし」をしました。「豊橋・学校いのちの日」の趣旨について話した後で、『どうしてしんがたコロナになるの?』という絵本の読み聞かせをしました。各教室で、放送で一斉に行いましたが、子どもたちは、テレビ画面に映し出された絵を見ながら、真剣に聞いていました。身近な問題である新型コロナウイルス感染症にきちんと向き合い、どう受け止め、行動していくのかについて、それぞれに感じたり、考えたりしてくれたと思います。

来週は、学級で「いのち」をテーマに道徳の授業を行います。

学校は、子どもたち一人一人のかけがえのない命を守るとともに、すべての子どもたちに命の尊さを伝え続けていきます。



『どうしてしんがたコロナになるの?』
監修：松永展明 絵：せまさゆき
編者：WLL こども知育研究所

(金の星社刊)



家族の木

昨年度から再整備を進めてきた「家族の木」がようやく活動を再開できる状態になってきました。木の状態によっては割り当てを変更したり、新番号を確認したりしました。

ビワは収穫の時期を終え、プラムやウメが少し色づき、ミカンはたくさんの青い実をつけています。果樹の種類も多いので、お子さんに、ぜひ様子を聞いてみてください。

学校評議員会

本年度第1回の学校評議員会を、6月18日に予定していましたが、緊急事態宣言発令中のため書面開催としました。本年度の学校経営方針や令和3年度の教育活動の様子などをお伝えしました。今後、機会をとらえて、学校や児童の様子を見ていただき、学校運営へのご意見や学校関係者評価をいただきます。よろしくお願いいたします。

本年度の学校評議員のみなさんをご紹介します。

- 神藤 高秀さん 校区自治会長
 - 彦坂 幸英さん 豊南小同窓会長
 - 中村富士夫さん 校区市民館長
 - 神藤美由紀さん 主任児童委員
 - 川口 美鈴さん 豊南保育園長
 - 神田 守栄さん 高豊地区市民館長
 - 伴 巧さん 前PTA会長
- よろしくお願いいたします。

校区探検（2年生活科）

6月8日（火）、2年生が、城下町の神藤さんの温室に見学に出かけました。ミニトマトは、8月に植えて翌年の7月ごろまで収穫すること、茎は15メートルくらいの長さがあることなど、たくさんの発見がありました。また、神藤さんから、おいしいミニトマトを育てるには、声をかけたり、様子をよく見たりすることが大切と教えていただきました。

